

主催 所沢市学者・文化関係者懇談会(準備会)

「地方自治は民主主義の学校」と言われています。所沢に住む学者や文化関係者も、地域の問題に目を向けて考える場をつくろうと計画しました。どなたでも参加できます。

【日時】 2024年4月14日(日) 午後2時～4時30分

【会場】 新所沢公民館・学習室2

## ”市民の自治と人権” コミュニティを目指して

田島泰彦さん (元上智大学教授)



**経歴** 1952年、埼玉県秩生まれ。早稲田大学大学院博士課程単位取得満期退学。上智大学文学部新聞学科教授(2018年3月まで)、早稲田大学非常勤講師(2023年3月まで)。憲法・メディア法専攻。

**著書** 『表現の自由とメディアの現在史』(日本評論社)、『この国に言論の自由はあるのか』(岩波書店)、『物言えぬ恐怖の時代がやってくる』(花伝社・編著)、他



2019年刊  
定価 2420円  
日本評論社

## 学者・文化人が意見を発信することの意義(仮題)

門奈直樹さん (立教大学名誉教授)



2001年刊  
定価 1320円  
講談社学術文庫

**経歴** 英レスター大学客員研究員、立教大学社会学部長、北京外国語大学大学院日本学研究センター教授、京都産業大学・同大学院客員教授等歴任

**著書** 『民衆ジャーナリズムの歴史』(講談社学術文庫)、『現代の戦争報道』(岩波shin新書)、『ジャーナリズムは再生できるか』(岩波現代全書)、『ジャーナリズムの科学』(有斐閣選書)他

